



看護専攻科の生徒さんが実習に来られました

当院看護部にて、呉市内に所在する清水ヶ丘高校看護専攻科の実習生を受け入れました。実習生のみなさんは、主に受け持ち患者様との関りから看護展開の仕方や・ケアの方法など、現場での知識と技術をより深めるため、頑張っておられます

実習生の受け入れは、当院では初めての取り組みで、日常業務の多忙化など不安や戸惑いも多かったのですが、実習指導責任者を主体にホスピタリティマインドのもと、当院の二つの機能である、「急性期病院の後方支援としての役割」「在宅療養支援病院としての役割」についても学んで貰える様、各部署が指導見学に協力してくれています。



9月上旬までの期間ですが、将来の看護を担う若い人材の育成に、皆様のご理解とご協力をお願いします。

本館看護師長

住本順子

看護補助者研修会を実施しました

7月26日、30日の2回にわたって「業務上の責任と倫理」と題して看護補助者を対象に研修が行われました。

看護補助者の業務上の責任では、医療の場において看護師だけでなく医療チームの一員として患者に最適で質の高いケアやサービスを提供し互いが役割を認識し協力して業務を行うこと、自らの役割を認識し理解するとともに業務に責任を持つことを学びました。

看護補助者の倫理では介護従事者としてあるべき基準や自らを律する規範である「害を及ぼす行為とは」「知識技術の研鑽」「個人情報保護と守秘義務」「様々な職種との連携」を学びました。ここで学んだ4つは業務を行う上で必要不可欠なものです。

業務が忙しく追われると、余裕がなくなり心のこもった業務がおろそかになってしまうことがありますが、今回改めて学んだ事を忘れず、患者様に満足していただけるようなケアに努めたいと思います。



介護部ケアワーカー

小野廣

もしも静かに今年のお月見を楽しめませんか。夜間外出の機会が減った今年はお月見を楽しませませんか。



十五夜といえ別名「仲秋の名月」或いは「中秋の名月」とも呼ばれ、日本人にとって秋の風物詩といえますが、厳密にいうと「仲秋」と「中秋」は少し意味が違います。「仲秋」は7月を初秋、8月を仲秋、9月を晩秋と定めており、「仲秋の名月」は「8月の名月」という意味になります。

一方、中秋とは、秋のちょうど真ん中の日（旧暦8月15日）という意味なので「十五夜」は「中秋の名月」と書くのが正しいそうです。実はお月見をする日は「十五夜」だけでなく他の日にもお月見をする（すべき）夜が二日あります。

旧暦9月13日の夜にお月見をする日は「十三夜」と呼ばれ、栗や枝豆も供えることから、「栗名月」などと呼ばれる日、10月10日の夜にお月見をする日は「十日夜」と呼び、この日は稲刈りが終わって「田の神」が山に帰る日とされています。

なお、「十五夜の月」と「十三夜の月」は両方見なければならぬという言い伝えがあり、どちらか一方しか見ないのは「片月見」と呼ばれ、不吉なのだそうです。

お月見が日本でも広まったのは平安時代に中国から「中秋節」が伝わったに因り、平安貴族たちからは今よりも直接には月を見ず、優雅に水面や酒盃に映った月を眺め楽しんでいました。

江戸時代に入ると庶民の間にもお月見が広まっていき、農耕に安貴族とは違い、農耕に無事関係する意味合いが強く、無事に農作物が収穫できた事を感謝する日でもあったそうです。

十五夜

診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時
土曜日 午前：9時～12時 午後：休診
休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

月曜日	午前：青山	午後：大村	木曜日	午前：大村	午後：宮里
火曜日	午前：大村	午後：宮里	金曜日	午前：宮里	
水曜日	午前：宮里	午後：卜部・原		午後：竹中(脳神経内科)	
		(腎臓内科)	土曜日	午前：内科(交代制)	

季節の風景



稲刈り